

中間アヤカ『踊場伝説』イベントスケジュール

18:00-20:00*
ドリンク販売もあります!

11:00 オープン-20:00 クローズ ※最終日は 18:00 クローズ

劇場	展示エリア	11:00-13:00	11:00-18:00	14:00-17:00	18:30-
10/9 (月・祝)	11:00-13:00 『風に旅する』公開リハーサル 11:00-18:00 展示	公開テクニカルリハーサルなど	18:30- こけら落とし上演 - 『RED MAN today』 - 『マージナル・ダンス』	中間アヤカが「劇場」レパートリーとして創作した新作!	村上和司による伝説の作品が「劇場」オープンを飾ります!
10/10 (火)	11:00-13:00 『風に旅する』公開リハーサル 11:00-18:00 展示	劇場レンタル 他団体による公開稽古(役者でない)	18:30- 上演 『マージナル・ダンス』		
10/11 (水)	11:00-13:00 『風に旅する』公開リハーサル 11:00-18:00 展示	劇場レンタル 他団体による公開稽古 (13:00-15:00 竹ち代穂也、15:00-17:00 横尾友美)	18:30- 上演 『マージナル・ダンス』		
10/12 (木)	休演日				
10/13 (金)	11:00-13:00 『風に旅する』公開リハーサル 11:00-18:00 展示	劇場レンタル 他団体による公開稽古(大谷悠)	18:30- 上演 『マージナル・ダンス』		
10/14 (土)	11:00-13:00 『風に旅する』公開リハーサル 11:00-18:00 展示	公開テクニカルリハーサルなど	18:30- 上演 『マージナル・ダンス』		
10/15 (日)	11:00-13:00 『風に旅する』公開リハーサル 11:00-13:30 展示	14:00- 上演 - 『風に旅する』 - 『マージナル・ダンス』	劇場解体	※18:00 クローズ	関西コンテンポラリーダンスの草分け的存在、冬樹が振付。「劇場」で初演を迎えます!

*ドリンク販売は最終日のみ時間が変わります

上演作品

『RED MAN today』



10月9日(月・祝)18:30
振付:村上和司
出演:遠藤リョウノスケ、村上和司

この作品は2002年に初演したもので、その後、場所を変えカタチを変えて発表してきた作品です。演出・構成等はその都度違いますが、“一人ぼっちの恐怖と孤独”というテーマはいつも同じ。今回も必死でもがいて楽しんで生きています。



村上和司プロフィール

モダンダンスを、故・神澤和夫に学ぶ。2002年ソロダンス『REDMAN』を発表。これまでほぼ毎年無理やり強引に、各地の劇場内外、場所を問わず様々な場所で展開。

『マージナル・ダンス』



10月9日(月・祝) 19:00
10月10日(火)- 14日(土) 18:30
10月15日(日)14:30
*10月12日は休演日
振付・出演:中間アヤカ

まずは、私がこれまでに創った作品(その中には、当時「作品」と呼ぶことを躊躇った「ダンス」も含まれます)で着用した衣装を1枚ずつ脱いでいきます。体型が変わって着ることが出来なくなったり、虫に食われて捨ててしまったものもあり、残念ながら

全てをご紹介することは叶いません。ここへ来るまで、思った以上に長い年月が経っていたようです。『マージナル・ダンス』はこの「劇場」のレパートリーとなる訳ですが、私の作品や、ダンサーとしての生き様なんかを、いつか誰かが舞踊の歴史に加えてくれる日はやって来るのでしょうか。

まあ、別に来ようが来まいが知ったこっちゃありませんが。

みんなが覚えていなくとも誰かひとりが記憶していたおかげで出会えたものや、必要とされなくてもただそこに在り続けてきたことに、挨拶するつもりで踊ります。

上演を繰り返す間に、まだ見つけられていない何かを拾えたら、さらに豊かになるでしょう。民俗学者の折口信夫が言うところの「まれびと」のような存在として、「未成霊」のようなこの場と共に、宙ぶらりんなダンスを、限界まで。

『風に旅する』



10月15日(日)14:00
振付:冬樹
出演:中間アヤカ

昔から風のような踊りがしたいと思ってきました。ただ僕自身それを実現するには魅力ある躍り手が必要でした。そこに現れたのが彼女で、少し動いてもらってピンとききました。



冬樹 プロフィール

1975年から8年間、現代舞踊家 故・神澤和夫に師事。1988年、自身初の作品『Deja-vu』発表。1992年、自身の舞踊の方向性を模索する不定形ユニットFuyuki Dance Vision立ち上げ。同時期にスーザン・バージ率いる日仏共同プロジェクト『MATOMA』に参加、フランス各地のアートフェスティバルやダンスフェスティバルにて上演。1996年、ダンサー達の交流の場としてDANCE BOX発足時のプロデューサーに関わる。現在は京都芸大跡地の利用を考えるタウンミーティングに参加し、もっと広い視野で日本の舞踊を考える機会を作りたいと思っている。

